

農業従事者の高齢化と 耕作放棄地の対策は

渡邊議員 現在、農業従事者の担い手が不足し、高齢化が進んでいる。本市でも農業従事者の平均年齢は年々上昇していると思うが、今後どのような対策を講じる考えなのか。

また、本市における耕作放棄地の面積と今後の対策について伺いたい。

市長 本市でも農業従事者の高齢化、後継者不足による担い手農家の不足が懸念されており、新規就農者を含めた地域農業の担い手の育成、確保は重要な課題である。このため、認定農業者や集落営農組織の育成、農地流動化の促進など、各種施策を実施しているところである。

農業委員会で集計している耕作放棄地の面積は、平成二十三年度は四十一・二ヘクタールで、七・二ヘクタール解消したが、新たに十三・六ヘクタール発生したため、前年より増加している。耕作放棄地は、不整形地、狭あい地あるいは農道等が狭く大型農業機械の乗入れが難しいため、効率的な



土地利用ができないなど、いわゆる条件不利地に多く存在している。

今後の対策として、農地は一度荒れてしまうと復元に多大な時間と労力が必要となり、ごみの不法投棄や病害虫の発生源となるおそれがあるので、今後も引き続き「広報もおか」や「Weekly Newsもおか」等を通じて農地の適正管理についてPRをしていきたいと考えている。

災害図上訓練を 実施してはどうか

中村議員 災害図上訓練は、地域で発生する様々な災害を想定し、

地図を使いながら予測される事態を書き込んでいく訓練である。その最もポピュラーなのがDIGと呼ばれるものである。一般的な防災訓練と比べ、低コストかつ少人数で実施可能であり、多種多様な災害を想定できるという利点がある。訓練の実施による効果は大きいものがあると思われる。他の自治体では、職員研修や市民が参加しての防災訓練に用いられているが、本市でも実施してはどうか。

市民生活部長 災害図上訓練DIGは、災害を知る、まちを知る、人を知ることと地域の防災力、災害への強さ、弱さを認識し、防災に対して今後どのように対応すればよいかを理解することができると考えている。本市では、昨年の東日本大震災と今年の竜巻被害を受けたところであるが、災害が起きた時にできる限り被害を出さない、また被害を最小限にするために事前の対策や被災後の対応を考えておくことが大切である。図上型訓練の種類は、大きく分けて状況予想型図上訓練、災害型図上訓練DIG及び図上シミュレーション訓練があり、DIGは災害図上訓練のそれらの手法の一つであり、地

体育施設の 利用時間の延長を

域と一体で行う訓練としては最適と言われている。今後どのような方式で図上訓練を行っていくのがよいか、芳賀地区広域消防本部と連携して十分検討していく。

中村議員 真岡市の体育施設は、利用時間が午後九時までとなっているが、一般の社会人が仕事を終えてからスポーツを楽しむにはなかなか難しい環境である。屋外の体育施設で長時間照明を使用した場合、農作物に影響を与える可能性が高く、利用時間の延長が難し



真岡市総合体育館で行われているスポーツ教室

いことは理解する。しかし、屋内の体育施設、特に公共施設が集中している市民公園周辺の状況を見ると、各種文化施設や商工会館、急患センターなどは夜九時以降も利用されている。

県内十四市の体育施設を見ると、十一市が午後九時半、または十時まで利用可能である。利用者の声をきちんと聞いたうえで体育施設の利用時間の延長を検討してはどうか。

教育次長 屋内体育施設の使用時間の設定に当たっては、周辺住民の方々の生活環境への影響に配慮するとともに、小中学生への教育的観点などから設定しているものである。また、現状の使用時間においても、近隣の方より夜間の騒音について苦情をいただくことがある。利用者へのアンケート調査等については、これまで施設貸出し等の窓口において、利用時間延長の要望がなかったため、実施していなかった。まずは周辺住民の方々の生活環境への影響について、再度お話を伺うなど、条件が整った段階で必要に応じて利用者へのアンケート調査等についても検討したいと考えている。